

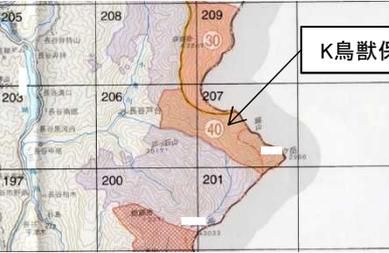
イノシシ及びニホンジカを保護することを主目的とする 森林鳥獣の生息地の保護区の例

事例1 N県K鳥獣保護区

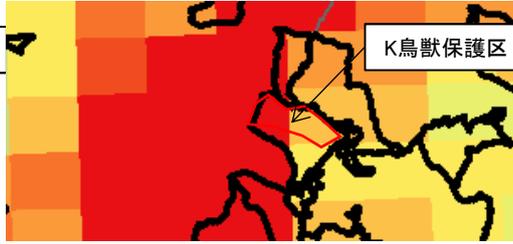
指定区分: 森林鳥獣生息地の保護区

主な鳥獣: ニホンジカ、イノシシ、シジウカラ類、キツツキ類

<位置図>



<ニホンジカ生息密度>



<植生図>



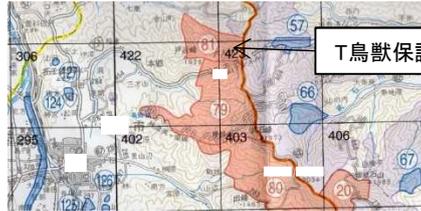
○主に、シラビソ、オオシラビソ群集から成る(水色)
○山稜線付近のオレンジ色は自然裸地。

事例2 N県T鳥獣保護区

指定区分: 森林鳥獣生息地の保護区

主な鳥獣: ニホンジカ、シジウカラ類、キツツキ類

<位置図>



<ニホンジカ生息密度>



<植生図>



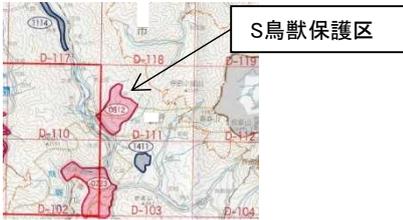
○大部分がカラマツ植林(茶色)
○その他はクリーミズナラ群落(緑色)

事例3 G県S鳥獣保護区

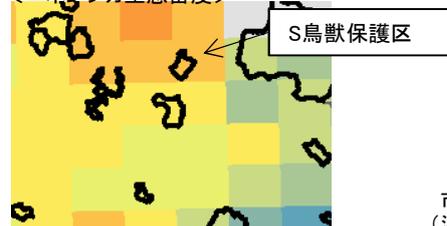
指定区分: 森林鳥獣生息地の保護区

主な鳥獣: ニホンジカ、イノシシ

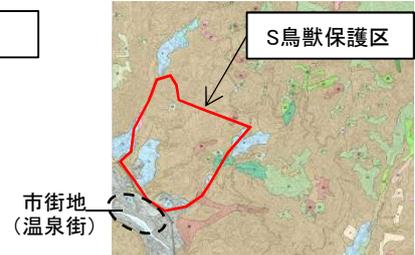
<位置図>



<ニホンジカ生息密度>



<植生図>



○大部分がスギ・ヒノキ植林(茶色)
○一部水田雑草群落(水色)
○市街地の後背地指定されている。

<ニホンジカ生息密度 凡例>

(頭/km²: 2014年度当初中央値)

1.0未満	20.0未満	都道府県指定鳥獣保護区
3.0未満	25.0未満	調査対象外
5.0未満	30.0未満	分布確認なし
7.0未満	40.0未満	
10.0未満	50.0未満	
15.0未満	50.0以上	

○ニホンジカの生息密度が非常に高い地域にニホンジカ等を保護することを目的とした鳥獣保護区が指定されている(事例1~3)。

○周囲に自然植生がある中で、植林地が鳥獣保護区として指定されている(事例2、3)

○鳥獣保護区が市街地の後背地に位置し、静穏の保持が主目的であるとも考えられる(事例3)